

## 大会開催にあたって

今年度の研究大会は、成城大学で予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況などに鑑みて、オンライン開催となりました。合計16名の研究者が個人研究発表を行いますので、ぜひとも議論にご参加下さい。シンポジウムは、「フェミニスト現象学は何をもたらさうか」と題して、江原由美子、小手川正二郎、中澤瞳の各氏に提題していただき、国内外で注目を集めているフェミニスト現象学の可能性を検討します。また、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップとして「『身体を引き受ける』を引き受ける——トランスジェンダー現象学の展開」が開催されます。ジェンダーと学問の関係が大きく問われている時、こうしたシンポジウムとワークショップが哲学の学会で同時に開催される意義は大きいはずです。公募ワークショップ「フッサール時間論の「現在」」では、現象学の研究の蓄積がある「時間」というテーマへの新しいアプローチが注目されます。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。非会員の皆様にもご案内いただければ幸いです。

企画実行委員長

## プログラム

11月28日(土)

09:25-11:00 **個人研究発表** (発表30分・質疑応答15分)

**第1会場 (オンライン会場1a) 司会：中委員**

9:25 小川歩人 (大阪大学)

初期デリダにおける「素朴さ」の主題  
——オイゲン・フィンクによるフッサール解釈との比較から

10:15 加藤恵介 (関西国際大学)

言語の暴力と沈黙の暴力

**第2会場 (オンライン会場2) 司会：田口委員**

9:25 京念屋隆史 (法政大学)

考えるとき話しているのか  
——フッサール「独白」概念をめぐる

10:15 小関健太郎 (慶應義塾大学)

フッサールの多様体論と存在論——志向的対象の観点から

**第3会場 (オンライン会場3) 司会：村上委員**

09:25 丸山望実 (九州大学)

ドレイファスらの接触説における「飛躍の問題」の検討

10:15 佐藤駿 (北海道大学)

隠喩の現象学

11:00-12:20 昼休み・第1回委員会 (オンライン会場4)

12:20-14:50 **【男女共同参画・若手研究者支援ワークショップ】 (オンライン会場1b)**

「『身体を引き受ける』を引き受ける

——トランスジェンダー現象学の展開」

オーガナイザー：赤阪辰太郎 (大阪大学)

提題者：古怒田望人 (大阪大学)

提題者：佐野泰之 (立命館大学)

コメンテーター：岩川ありさ (法政大学)

15:00-18:00 **【シンポジウム】 (オンライン会場1b)**

「フェミニスト現象学は何をもたらさうか」

提題者：江原由美子 (横浜国立大学)

提題者：小手川正二郎 (國學院大学)

提題者：中澤瞳 (日本大学)

司会：池田喬 (明治大学)

11月29日(日)

09:15-12:30 **個人研究発表** (発表30分・質疑応答15分)

**第1会場 (オンライン会場1a) 安部委員**

09:15 森正樹 (慶應義塾大学)

現存在とは何か——根源的な時間概念の射程

10:05 神谷健 (関東学院大学)

『存在と時間』執筆期のハイデガーにおける論理学

10:55 金成祐人 (帝京大学)

ハイデガーにおける超越の問題

11:45 大江倫子 (東京都立大学)

中期ハイデガーにおけるピュシスとロゴス

**第2会場 (オンライン会場2) 司会：植村・斎藤委員**

10:05 田中奏タ (千葉大学)

自己と他者の「覆い合い」

——フッサール感情移入論における触覚の優位を手がかりに

10:55 柳川耕平 (立命館大学)

意識の現在における三つの同時性について

11:45 吉田聡 (千葉工業大学)

他者経験と人間的世界の連関

**第3会場 (オンライン会場3) 司会：加國・永井委員**

10:05 上島洋一郎 (関西大学)

体験を語ることの満たされなさ

10:55 亀山陽司 (北海道立北の森づくり専門学院)

自然的世界と自己の超越

11:45 佐藤香織

美的対象の存在論

——ミケル・デュフレンヌを手掛かりに

12:30-13:45 昼休み・第2回委員会 (オンライン会場4)

13:45-14:15 **総会 (場所：オンライン会場1a)**

14:20-16:20 **【公募ワークショップ】 (オンライン会場1b)**

**フッサール時間論の「現在」**

オーガナイザー・指定討論者：三村尚彦 (関西大学)

提題者：村田憲郎 (東海大学)

提題者：西村正秀 (滋賀大学)

## お知らせとお願い

### 1 2019年度決算報告 (2019.41~2020.3.31)

#### 【歳入】

#### 【歳出】

歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥2,247,502	『年報』出版費	¥631,180
納入学会費	¥1,192,000	『年報』編集費	¥3,440
『年報』売上	¥36,000	『年報』送料	¥57,406
普通預金利子	¥18	科研費 (研究成果公開 促進費) 執行分	¥1,094,019
科研費 (研究成果 公開促進費)	¥1,100,000	通信費	¥77,114
計①	¥4,575,520	企画・実行費	¥0
【次年度繰越金】	¥2,073,971	事務局経費	¥70,733
		研究大会開催費	¥198,903
		研究大会講師謝礼	¥62,194
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥286,560
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥0
		特別経費	¥0
		研究奨励費	¥20,000
		計②	¥2,501,549

※赤字=修正箇所

2 会費納入 学会費 (年間3,000円) を同封の振込用紙にて  
ご納入下さい。

### 3 委員選挙のお知らせ

今年度は、委員の改選の年度となっております。投票用紙を 11  
月 25 日 (水) (必着) までに事務局にお送りください。

## 第 42 回

# 研究大会

日時：2020年11月28日(土)・29日(日)  
会場：オンライン

会員＝無料 (今年度会費が未納の方は参加登録にあわせてご納入ください。)  
非会員＝1,000円

日本現象学会 HP より参加登録をお願いします。

[http:// pa-i.jp/](http://pa-i.jp/)

## 日本現象学会

事務局：

〒153-8902

東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科石原孝二研究室

Email: [pai-office@pa-i.jp](mailto:pai-office@pa-i.jp)

郵便振替 00980-9-109153

HP: <http://pa-i.jp/>